

【校訓】
やさしく
かしく
たくましく




令和2年度 北九州市立大里柳小学校 グランドデザイン(ver 2.1)

協働 自律 創造

学校教育目標

自ら学び続け、人間性豊かに、たくましく生きる子どもの育成
 ~SDG sの視点を基に、大里柳小の強みを「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」学校教育の創造~
 【夢を語り合い、仲間とともに価値あることを創造し、自らを問い直しながら粘り強くやり抜く大里柳子】

<国・市の動向>
 ・新学習指導要領全面实施
 ・「元気発進！北九州」プラン
 ・北九州市教育大綱
 ・第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
 ・学力・体力向上アクションプラン
 ・業務改善プログラム・人材育成基本方針
 ・教職員支援プロジェクト・元気発進子どもプラン など

- 児童の実態
- 本校の教育課題
- 保護者・地域の願い
- 時代や社会の要請

学び続ける学校

地域に根差す学校

文化を創造する学校

目指す学校像

「大里柳小学校で学び、働き、通わせてよかったと思える学校」
 ○児童が安全に安心して学ぶことができる美しい学校
 ○さわやかな笑顔と挨拶が響く学校
 ○保護者や地域から信頼される学校
 ○教職員がやりがいと誇りをもって、児童の成長のために「チーム大里柳小」として取り組む学校

目指す児童像

- 夢を語り合い、お互いを尊重する子ども
→自律・協働・創造の「種」：【やさしく】
- 仲間とともに価値あることを創造する子ども
→協働・創造：【かしくく】
- 自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども
→自律【たくましく】

目指す教職員像

- 信頼と責任と協力の精神に支えられた創造的で明るい教職員集団
- 児童とともに感動、汗する教職員
- 児童の心の変化に気づき、信頼関係を構築できる教職員
- 高い専門性と使命感と情熱をもつ教職員
- 互いに研鑽し合い、専門職としての資質・能力の向上を目指すとともに、「チーム大里柳小」の一員として自分の役割を果たす教職員

4つの重点目標と具体的方策

1 子どもの【学び続ける】意欲を高め、個性を認め伸ばす教育の推進

- ①特別支援教育の考え方を基軸にする大里柳小教科担任制の充実
 - ・大里柳小スタンダードの視点からの授業づくり
 - ・共感的な児童理解に立つ学級づくり、学年づくり
- ②SDG s 未来都市にふさわしいESD教育の実施
 - ・総合的な学習の時間を活用した系統的・計画的なESD教育の推進
- ③読書活動の充実を図る学校図書館教育の推進
 - ・読書推進に係る広報活動の充実
 - ・学校内における読書活動の推進
- ④「価値思考・集団参加・自己実現」を具現化する特別活動の充実
 - ・異学年交流の推進及び文化的活動を創造する児童会活動の充実（委員会活動・代表委員会・係活動）
 - ・柳西中校区生徒会・児童会との連携
- ⑤健康・安全教育の推進
 - ・自らの命は自らで守るという意識向上を図る防災・減災指導推進
 - ・安全：火災・地震・竜巻・豪雨等に対する避難訓練等
 - ・健康：感染予防・拡大防止、生活習慣、食に関する指導

3 子どもの確かな学力・体力【資質・能力】の向上

- ☆新学習指導要領に対応する授業づくり（指導と評価の一体化）
- ①小学校一部教科担任制を活用した授業改善の推進・充実
 - ・児童の多面的な理解・学年全体で児童を見守る体制づくり
 - ・教師の授業力向上、資質・能力ベースでの評価の在り方
- ②人材育成・業務改善Pを中心とした組織的・計画的な取組
 - ・大里柳小授業づくりスタンダードの充実
 - ・授業力向上の取組（大里柳小研修スタンダードづくり）
- ③「主体的・対話的で深い学び」の一層の推進
 - ・学び続ける子どもを育てる授業づくり：遊ぶが如く学ぶ
 - ・思考スキルを活用と思考ツールの導入（ICT機器WBの活用）
- ☆2020オリパラ、東アジア文化都市の取組→柳小新たな文化創造
- ④家庭と連携した学習習慣・運動習慣等「学びの基盤」の充実
 - ・家庭学習習慣の定着と質の向上：自学ノートの取組
 - ・学力定着サポートシステムの活用・体力向上1校1取組の充実
- ⑤自律（立）した学びを実現する取組（学習規律・学校環境）
 - ・児童会活動（生徒会と連携）を活用した学習規律の徹底

2 子どもの心の育ち【人間性】を促す教育の推進

- ①自己実現を目指す積極的な生徒指導
 - ・組織的・機動的な生徒指導体制の充実（同近接学年組織を基軸）
 - ・定例の生徒指導・特支教育部会→対応共通理解・児童理解の促進
 - ・いじめ（の芽）事案への速やかな対応
 - ・不登校傾向、「気にかけてい子」へのきめ細やかな対応
- ②自律した児童を育てる児童会活動の充実
 - ・学級会を基盤とした特別活動の充実
 - ・あいさつ運動等、児童発の取組の推進
 - ・異学年交流の推進
- ③思いやりの心の育成や規範意識の醸成
 - ・心に響く道徳科の授業づくり
 - ・人間関係づくり、学級集団づくりを促進する学級活動の充実
 - ・非行防止、薬物乱用防止、情報モラル等の取組の充実
- ④確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
 - ・新版「いのち」、「北九州市子どもつながりプログラム」の活用
 - ・「明日への伝言板」等、人権作品を活用した人権教育の推進

4 中学校区・保護者・地域・関係機関との連携の充実

- ①【小中一貫・連携教育の推進】
 - ・児童生徒、教職員、教務主任、管理職のそれぞれで実現
 - ・小中合同研修会（教員相互の授業参観・教科担任制の推進）
 - ・9年間の育ちを支える小・中ルールづくり

- ②【保護者・地域・関係機関との連携】
 - ・大里柳小学校学校評議員との連携
 - ・学校からの情報発信の強化
 - ・公開で行う教育活動の推進と充実
 - ・きめ細やかな保護者連絡、関係機関との連携

- ③【学校経営ビジョンの共有とPDCAサイクルの確立】
 - ・学校経営に関する情報共有
 - ・具体的な目標設定「何を、いつ、どのように」
 - ・北九州市型CSの推進：学校自己評価、学校関係者評価の充実

人材育成・OJTの充実

大里柳小「つなぐ」「かさねる」「つらぬく」カリキュラム・マネジメントの実現

業務改善（ワークライフバランス）

4つの重点項目実現のために大切にしていること

- ①【危機管理体制・対応の徹底】
 - ＜クライシス・リスクマネジメント＞
 - ・危機管理の「さすせそ」
 - ・「一つ上」の対応
 - ・「はら・れん・そう・かく（報告・連絡・相談・確認）」
 - ・いじめアンケート、教育相談の充実
 - ・特別な支援が必要な児童の個別の支援体制の充実

- ②【時を守り、場を清め、礼を正す】【動きやすい学校づくり】
 - ・教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。
 - ・不祥事撲滅（体罰・不適切な指導・飲酒運転等）
 - ・心と体の声を聴き、健康管理に努める。
 - ・ワークライフバランスの推進（定時退校日、学校閉庁日の活用）
 - ・選択と集中の徹底

- ③【教職員の協働体制の充実】
 - ・お互いの強みを生かし合うチーム大里柳小
 - ・ベテランの知恵を継承し、若年の豊かな発想力を支援し、互いに学び合う風通しのよい職場づくり
 - ・目的性・計画性「何を」「いつ」「どのように」
 - ・危機意識『ヒヤリ』『ハット』の共有・改善
 - ・「当たり前」を疑い、常に改善する意識の向上